

第 17 回 日本水大賞

日本水大賞委員会〔名誉総裁 秋篠宮殿下，委員長 毛利衛（日本科学未来館・館長）〕は厳正なる審査の結果、風土工学デザイン研究所における「風土工学による絵本等の創作」活動には光るものがあり賞にふさわしいと評価させていただきます。

栄えある受賞おめでとうございます。

平成 27 年 5 月 日本水大賞委員会

賞の名称	第 17 回日本水大賞 審査部門特別賞
表彰式	東京都江東区青海 2-3-6 日本科学未来館 新交通ゆりかもめ「船の科学館」下車徒歩 5 分
日時	平成 27 年 7 月 7 日（火） 13：00～16：20 16：40 より記念祝賀パーティー

NPO 風土工学デザイン研究所の会員、 及び日本感性工学学会、風土工学部会の会員のみなさまへ

風土工学誕生以来取り組んできた風土工学の普及啓発諸活動のうち、風土工学手法による絵本・カルタや土木施設の命名等の創作活動が水循環の健全化に資するものとして評価されたものです。

これもひとえに当風土工学デザイン研究所設立以来御指導いただいていた皆様方の御支援のおかげであります。

御報告かたがたここに厚く感謝御礼申し上げます。

平成 27 年度の風土工学部会の研究発表会のあと、簡単な受賞報告・感謝御礼を下記で開催いたします。

日時	：平成 27 年 7 月 10 日（金）
場所	：千代田プラットフォームスクエア地下 002 号室
研究発表会	13：00～16：30（千代田プラットフォームスクエア）
感謝御礼会	17：00～19：00（鍛冶屋文蔵 神田錦町店）

日本水大賞受賞〔JAPAN WATER PRIZE〕第17回特別賞

——風土形成に資する物語・絵本等創作活動——

1. はじめに

これまでの公共事業はコスト・ベネフィットの効率追求一辺倒でやられてきた。その結果、地域の環境との調和や風土との調和が損なわれる等いろいろ齟齬をきたすようになってきた。

これらの反省の上に私共は、風土との調和を目指す、風土の誇りを形成する風土工学の必要性を訴えてきている。

風土工学のデザイン対象の一つに誇りうる意味空間の設計がある。ソフトな意味空間デザインには物語・民話の創作やイベント、歌謡、歌留多等々がある。

たまたま、北上市が風土資産を活用した、地域の誇りとなる創作民話の公募があり、私共の風土工学理念と合致することより風土工学手法により創作民話『鬼翔平物語』をつくり応募させて頂いたところ、最優秀賞を授与して頂いた。

風土工学研究所では設立以来、誇りうる水空間のデザインに向けて矻矻と多くの創作民話や歌留多・讃歌等を作ってきた。

このようなその地の誇りうる風土資産を活用した創作民話や歌留多・讃歌等が良好な水文化形成に大きな役割を果たすものと考えている。

2. 活動の内容

土研センター風土工学研究所（つくば市）（1997年～2003年）、富士常葉大学附属風土工学研究所（富士市）（2000年～2010年）及び、これらの2つの風土工学研究所の活動と実績を継承した風土工学デザイン研究所（千代田区神田）（2001年～現在に至る）において、通算17年余の風土工学の普及啓発活動の一環として全国各地の風土を徹底的に調べ、その地に存する誇りうる風土資産を題材とした民話等を数多く創作してきた。

それらのうち、地元の自治体（市）から創作民話最優秀賞を受賞した作品『鬼翔平物語』（入畑ダム水源地域の物語）や、当方が創作した民話とその地の地域おこしとして演劇化された作品『蔡温あけみお物語』（羽地ダム水源地域の物語）や、創作民話に因んだ橋梁名やトンネル名が名付けられた作品『徳之山八徳物語』（徳山ダム水源地の物語）、『阿保千方物語』（川上ダム水源地の物語）、『小丸川の郷物語』（小丸川発電所水源地の物語）etcや地域の関係者から命名の由来の素晴らしさから、感謝状や表彰状をいただいた作品、『雷電坊物語・秩父の大雨編・甲武信ヶ岳編』（中津川渓谷の物語・雷電廿六木橋の命名、最優秀賞受賞）、湖名の命名から『ながい百秋湖讃歌』が創作されたもの等があります。

地元の方では是非多くの人に読んでほしいということで、一般市販してもらえないかということで、一般市販定価をつけたものが『徳之山八徳物語』『雫石あねっこ物語』（小柳沢の砂防公園の物語）『満山ガータロー物語』（行入ダム水源地の物語）などがあります。その他列挙すると『肘折鬼と地蔵の物語』（肘折カルデラ小松淵の物語）『奥津碧溪湖ものがたり』（苦田ダム水源地の物語）『諸美姫物語』（森吉山ダムの水源地の物語）『早池峰権現あづまね太郎物語』（早

池峰ダムの水源地の物語』『留萌チキサニセツ森物語』（留萌ダム水源地の物語）『小丸川の郷物語』（小丸川ダム水源地の物語）『一布叶水物語』（横川ダム水源地の物語）『鳴鹿郷物語』（九頭竜川鳴鹿の物語）『田上七賢人物語』（田上山砂防の物語）『お鬼怒と喜平の物語』（湯西川ダム水源地の物語）他多数ある。

意味空間設計として創作民話だけではなく、ダム水源地等の誇りとなる風土資産を題材とする「いろはカルタ」を多くつくってきた。『諸美姫ものがたり風土歌留多』（森吉山ダム水源地）『田上砂防いろはかるた』（瀬田川砂防）『球磨川・川辺川風土歌留多』（球磨川・川辺川）『野洲の扇いろはカルタ』『薩埵峠いろはかるた』『幾春別川いろは歌留多』『三峰川長谷の郷いろはかるた』『都道府県「かたち」いろはカルタ』『都道府県「名前由来」いろはカルタ』他多数ある。

『あけみおのまち名護羽地いろはカルタ』については読み札、絵札が羽地ダムの堤頂高欄部デザインに組み込まれている。又、『日本橋カルタ』についてはルネッサンス特別賞（2009年）、更には『山陰海岸ジオパークかるた』については優秀賞（2012年）等、地元関係者から表彰状等高く評価していただいた。

その他、風土資産の誇りの歌謡化が創作されたものに『ここまで来たら北海道（オロロンライン編）』（作詞：竹林征三、作曲：福澤恵介）、歌謡化や踊りが創作されたものとして『ながい百秋湖讃歌』等がある。



3. 活動の必要性

「ダムは無駄」「コンクリートから人へ」のキャッチフレーズのもとに、国家百年の計で着実に整備して行かなければならないダム事業が事業仕分けとか有識者会議とかで、ベネフィットが計算しやすいごく一部しか評価されていないにも関わらず、B/Cの評価尺度で次々事業中止に追い込まれている。ダム水源地域は治水・利水の事業の犠牲の地としてのマイナスカウントの評価だけではない。建設の目的は誇り得る水文化の価値高い地域を形成する積極的プラス評価の側面が全く忘れ去られている。ダム水源池を地域にとって誇りうる風土の宝とするためにはダム湖の名前や意味空間のソフトデザインが欠かせない。意味空間デザインとしては小説や物語、そしてイベント等が考えられる。私共の研究所が企画した小説としては、野洲川放水路をテーマとして「野洲川物語」（前理事長田村喜子作）がある。工学手法を駆使すれば創作民話等は出来る。このようなことより多くの創作民話や讃歌・カルタをつくってきた。物語化、民話化、歌留多等は風土工学のデザインの一手法であり、創作民話ひとつひとつに秘められている地域の誇りを一人でも多くの方が認知し共有して頂くことを願ってやまない。認知共有の輪が広がれば誇り高い地域おこしへの無限の展開が開けてくる。

4. 社会の評価

社会への波及効果：小柳沢砂防公園と道の駅をデザイン対象として創作された『雫石あねっこ物語』は雫石町の自慢とする民話七話として雫石町に定着すると共に道の駅「雫石あねっこ」は地域おこしの核となっている。『阿保千方物語』は当研究所が発掘し作った。千方伝承地マップの効果もあり、地元高尾地域の人々が藤原千方の壮大な物語を地域おこしの核にする活動が活発に行われるようになった。その他の地域では創作民話を題材として、ビデオ化やいろはカルタ・讃歌創作・演劇化等いろいろな展開を見せている所も多い。『蔡温あけみお物語』は地元の人々が俳優として演劇化されたことには当方としては想定外の展開にビックリさせられました。風土歌留多も好評で地元からいくつかの賞をいただくこととなった。又、田上山五讃碑が建立された。



5. 工夫した点・留意点

(1) <創作民話の作者について> 当研究所が風土工学理論とプロセスに沿って創作したものばかりであるが、その創作経緯から著者名が異なる形をとったものがある。①地元の方が、当方の風土工学理論に感銘してチャレンジして創作してみたいと申し入れがあり、その方と当研究所で創作したものとして「満山ガータロ物語」がある。②風土工学理論で物語の骨子を組み立て、作家田村喜子先生と合作したものに「鬼翔平物語」がある。③当方で風土工学理論とプロセスで、全文を作成した後、地元の元教育長の（佐々木正志）さんは風土工学理論に感銘され、自分が是非共、地元の方言等加筆させて頂きたいと1年間、自分の鞆の中に入れて、日々、声を出して読み加筆修正を重ねられて。完成させたものとして「雫石あねっこ物語」がある。④その他は所長の竹林征三及び研究員が風土工学理論とプロセスを駆使して創作したものばかりである。

(2) <創作民話の絵本化についての画家について> ①地元の方でプロの画家にお願いしたいと頼まれたのが『鬼翔平物語』の画家「野村たかあき」である。②『蔡温あけみお物語』は沖縄の地方色を強調させるために地元の方に描いて頂いた。又絵本は沖縄の月桃紙でつくられた。③その他の絵本化の画は、当研究所の活動を共に行っている会員の中に絵心がある会員がおられる。その方々に描いてもらったものばかりである。

(3) <創作プロセスについて> ①当該地域の風土資産（風土の宝物）を徹底的に調べる。②風土資産相互間の地元の人と、他地域の人の意識イメージの差異をマルコフのイメージウェイトの解析を経てイメージ構造図化をして、地域のトータルデザインコンセプトを導き出す。③コンセプトのブレイクダウンを行うと共に、発想技法とスクリプト技法等を駆使して物語の起承転結をつくる。

註) 風土工学理論については、竹林征三著『風土工学序説』『風土工学への招待』『市民環境工学・風土工学』『風土工学の視座』『風土千年復興論』等を参照。

6. 今後の展開

東日本大震災以降巨大災害の世紀に突入して『環境防災学』（竹林征三著）と『風土工学』の視座とその展開が極めて重要で不可欠であることがわかってきた。今後は「風土工学」と共に「環境防災学」の普及啓発に全力をつくして参りたい。今後の展開として①「風土工学」においては風土調査がその基本であることより、各地の調査結果を「風土誌」及び「風土資産マップ」の形で順次編纂していきたい。②災害の世紀に突入し、よりよき環境創造に資する真の防災の視座「環境防災学」の普及啓発に努めて参りたい。③土木事業の基本を支える両学の理解を深めていただくために、全国各地の「風土に刻された災害の宿命」をテーマとした講演活動を積極的に展開していきたい。真の安心安全国土づくりと良好風土形成を目指す活動はますます重要になってきている。

竹林征三、田村亨子作品

『鬼の館』、『公算の創作民話』、『鬼の館』、『公算の創作民話』、『鬼の館』、『公算の創作民話』...




心優しき鬼 郷十かける

「親子の対話に活用を」読者の声

「鬼の館」の魅力を伝えるべく、親子の対話に活用を促す。読者の声として、鬼の館の魅力を伝えるべく、親子の対話に活用を促す。

民話誕生

北上市教委 鬼かけっこ物語 発刊

初の絵本化 無料で配布

北上市教委が「鬼かけっこ物語」を初の絵本化として無料で配布する。これは、市内の小中学校で実施されている「鬼かけっこ」の魅力を伝えるべく、親子の対話に活用を促す。

朝日

鬼の館 公算の創作民話

最優秀賞に 鬼翔平物語

「鬼の館」の魅力を伝えるべく、親子の対話に活用を促す。読者の声として、鬼の館の魅力を伝えるべく、親子の対話に活用を促す。

話 土曜の 小夜 はなえの 話

「鬼の館」の魅力を伝えるべく、親子の対話に活用を促す。読者の声として、鬼の館の魅力を伝えるべく、親子の対話に活用を促す。

化石まちアンモナイトは世界一

幾春別川の風土や歴史などカルタに

三陸石川町開建が作題

化石まちアンモナイトは世界一。幾春別川の風土や歴史などカルタに。三陸石川町開建が作題。

オロロンライ

「鬼の館」の魅力を伝えるべく、親子の対話に活用を促す。読者の声として、鬼の館の魅力を伝えるべく、親子の対話に活用を促す。

風土工学から考える

普及啓蒙 役割の大きさなど説明

「風土工学」の魅力を伝えるべく、親子の対話に活用を促す。読者の声として、風土工学の魅力を伝えるべく、親子の対話に活用を促す。

地域の個性生かすデザイン

「鬼の館」の魅力を伝えるべく、親子の対話に活用を促す。読者の声として、鬼の館の魅力を伝えるべく、親子の対話に活用を促す。

次回の地域イメージ調査

参加希望者 必ず説明会、21日まで受付

「風土工学」の魅力を伝えるべく、親子の対話に活用を促す。読者の声として、風土工学の魅力を伝えるべく、親子の対話に活用を促す。

話 日曜の たんたん にんねの 話

「鬼の館」の魅力を伝えるべく、親子の対話に活用を促す。読者の声として、鬼の館の魅力を伝えるべく、親子の対話に活用を促す。

「ダムの下に眠る八徳」

徳之山八徳物語を出版

「鬼の館」の魅力を伝えるべく、親子の対話に活用を促す。読者の声として、鬼の館の魅力を伝えるべく、親子の対話に活用を促す。

「故郷と工事の進捗を見る会」開催

橋・トンネルに徳山の地名残す

「鬼の館」の魅力を伝えるべく、親子の対話に活用を促す。読者の声として、鬼の館の魅力を伝えるべく、親子の対話に活用を促す。

地域の個性、文化に着目

風土工学部会を新設

部長に竹林・元土木研環境部長

「鬼の館」の魅力を伝えるべく、親子の対話に活用を促す。読者の声として、鬼の館の魅力を伝えるべく、親子の対話に活用を促す。

話 月曜の 民話基に手作り絵本

「鬼の館」の魅力を伝えるべく、親子の対話に活用を促す。読者の声として、鬼の館の魅力を伝えるべく、親子の対話に活用を促す。